



2018年東商は創立140周年を迎えます

第15回 勇気ある 経営大賞

実施報告

2017

未来を切り拓くのは、
常識を打ち破る**勇気**だ。

 東京商工会議所



株式会社 ワキュウトレーディング

代表取締役社長 高橋 和久

受賞理由

●まだ国内のマッシュルームの生産量も流通量も少ない中、試食販売やレストランへのメニュー提案を通じて市場を拡大。さらに欧州のマッシュルーム栽培技術を用いて国内生産農家への技術指導を行い、品質向上、生産量増大に挑戦して業績を拡大させたこと。

株式会社 ワキュウトレーディング

事業内容 マッシュルーム専門商社

- 本社所在地：〒194-0021 東京都町田市市中町4-24-17
- 業種：卸売業
- 創業：1995(平成7)年
- 従業員数：8人
- 資本金：1,000万円

生産現場から消費者まで、「All for マッシュルーム」

当社は、マッシュルームを専門に扱う商社です。95年当時、マッシュルームの国内生産量は茸類全体の0.7%。市場での存在感は無いも同然の時代でした。創業の動機は、当時勤務していた外食産業の海外赴任先で「きちんと管理されたマッシュルーム」を初めて食べ、あまりの美味に衝撃を受けたからです。この魅力をきちんと伝えられれば、未開拓の市場でシェアが取れるのでは、そして市場自体を拡大できるのでは。そう考え、独立に踏み切りました。

当時、マッシュルームは缶詰でのイメージが強く「味が無い」「使い方がわからない」という声が大半。『野菜売り場の品数を揃えるため』の存在でした。そこで市場の開拓、マッシュルームの美味しさの普及活動に取り組みました。エプロンをつけ、毎日スーパーで

試食販売を敢行。味が伝われば、使い方がわかれば消費は伸びると確信していたからです。バックヤードでパートの方々に『美味しい!』と絶賛され、その勢いで店頭に立ちました。やがて、1日1~2パックしか売れなかったものが800パック売れる日が出るなど、潮目が大きく変わってきたのです。試食販売を行った01年から06年の間、当社の年商は約2.5倍に伸びました。

一方で、当時は国内生産者の機械や設備も旧式の所が多く、お世辞にも生産性が高いとは言えない状況でした。そこで、マッシュルーム栽培の先進国・オランダをはじめヨーロッパの最新農場を足かけ7年かけて視察。「日本のマッシュルーム栽培技術はオランダから20年以上遅れている」。私は危機感を抱き、状況を打開できる糸口を必死に探し歩きました。その

中で、コンピューター管理による最新の栽培設備に会い、国内生産者への輸入を開始。品質向上と安定的な供給体制の確保に努めました。

現在、道はまだ途中です。マッシュルームの日本人1人当たり年間消費量は2000年の約30gから2倍の約60gに伸び、当社も4年前にマッシュルーム専門のレストランを開業するなど、次々に攻めの手を打っていますが、私の目標は年間消費量「1,000g」です。マッシュルームに惚れ込んだ私の挑戦は、まだまだ続きます。

”美味しさを多くの人に。さのこを信じ抜く「勇気」。



- 1 フランスの種菌工場視察。マッシュルーム設備・資材の輸入を手助けたフランス人氏(左端)。日本語堪能な「頼れる同志」
- 2 ベトナム・ラムドン省での堆肥作り指導風景。海外初出店となるレストラン「MUSHROOM TOKYO」のホーチミン進出準備を始めている
- 3 超特大のマッシュルーム「ギガマッシュ®」。従来生産者が廃棄していたものを受注生産品として商品化。大きな話題となった。味は通常のものよりも深みと薫りがある
- 4 ベトナムでの出荷・検品作業指導風景



I 「勇気ある経営大賞」とは

「勇気ある経営大賞」は、東京商工会議所が、厳しい経営環境の中で勇気ある挑戦をしている中小企業またはグループを顕彰する制度です。革新的あるいは創造的な技術・技能やアイデア、経営手法等により、独自性のある製品・サービスを生み出している企業を顕彰いたします。併せて、その活動を広くPRすることで、後に続く企業に目標と勇気を与え、ひいては経済の活性化に資することを目的としています。

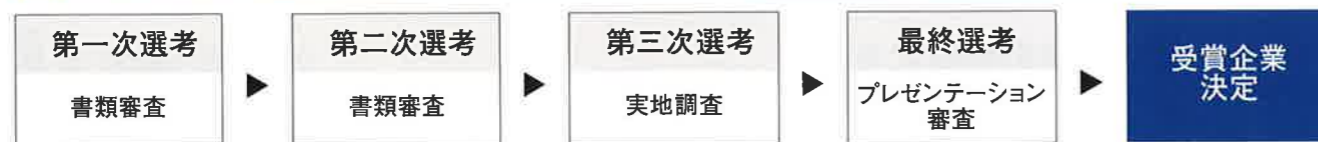
なお、本賞は売上高や財務内容、市場シェアといった数値の比較によって選考するものではなく、業種・業歴も関係なくご応募いただけます。現況を打破するイノベーションを実践されている企業を発掘し、顕彰してまいりたいと考えております。

本賞における「勇気」とは

本賞では、過去に拘泥することなく大きく経営の舵を切る決断を下し、実際に以下の行動をとったことを「勇気」とし、下記の選考基準の「チャレンジ精神」として評価します。

- 大きなリスクに挑戦したか
- 高い障壁に挑んだか
- 常識の打破に挑戦したか
- 高い理想の追求を行ったか

II 選考の流れ



III 選考基準、評価のポイント

- 製品・サービス**
 - ①革新性・独自性・優位性 ②技術・技能・ノウハウ ③市場性・成長性・社会性
 - ▶ 製品・サービスに革新性・独自性・優位性があり、新たな付加価値を生み出しているか。
 - ▶ 技術・技能・ノウハウに、他社が追随できない優れた特徴はあるか。
 - ▶ 市場シェア、顧客満足度は高いか。製品・サービスに成長性や社会性はあるか。
- 経営手法**
 - ①ビジネスモデル ②人材の育成・活用 ③コンプライアンス、環境対策、社会貢献活動など
 - ▶ ビジネスモデルに独自性があり、他の中小企業の模範となるものか。
 - ▶ 社外資源(取引先や公的機関など)を有効活用しているか。
 - ▶ 多様な人材がイキイキと働くよう、人材の育成や従業員満足度の向上に力をいれているか。
 - ▶ コンプライアンス徹底や環境対策、社会貢献活動に積極的に取り組んでいるか。
- チャレンジ精神**
 - ①チャレンジ精神と事業化能力 ②経営理念 ③成長戦略
 - ▶ 確固たる戦略に基づいてチャレンジ精神を発揮し、成果をあげているか。
 - ▶ 苦境に際し、いかなる工夫とイノベーションによりそれを克服し、成長を果たしたか。
 - ▶ 経営理念や成長戦略が明確であるか。また、それが社員にまで十分浸透しているか。
- 業績・財務状況**
 - ①財務基盤 ②収益性・成長性
 - ▶ 将来的な企業存続のための財務基盤が確立しているか。
 - ▶ 収益性・成長性は高いか。【本項目は副次的な参考要素にとどめる】

※上記の選考基準項目をすべて満たしていない場合でも、特に優れた項目について積極的な評価を行います。※選考に関しては、過去の顕彰・表彰実績や大企業との資本関係の有無等を考慮する場合があります。※創業時の取り組みについては、その内容とそれに伴う成果や実績を明確に記載することが必要となります。ただし、創業自体をもって、チャレンジ精神として評価することはありません。※技術大賞とは異なり、製品・サービス内容における技術的優位性などはあくまで評価項目の1つとなります。

応募資格について

次の①②のいずれにも該当する企業もしくは企業グループ(自薦・他薦は問わない)

①中小企業基本法に定める中小企業※で未上場企業 ※資本金3億円以下または常時雇用する従業員300人以下の会社。ただし、卸売業の場合は資本金1億円以下または従業員100人以下、小売業の場合は資本金5,000万円以下または従業員50人以下、サービス業の場合は資本金5,000万円以下または従業員100人以下。みなし大企業はご応募できません。

②東京都に事業活動の拠点(支社、支店、工場、営業所、事務所等)を置く企業 但し、一都八県(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、群馬県、茨城県、栃木県、山梨県、静岡県)に本社機能がある企業に限る。なお、東京商工会議所の会員・非会員を問わない。

IV 第15回「勇気ある経営大賞」運営組織における委員構成

(敬称略・順不同) 2017年9月1日現在

実行委員会 本事業の運営を統括

- 委員長 伊 東 孝 紳 東京商工会議所 副会頭(本田技研工業株式会社 取締役相談役)
- 委員 大久保 秀 夫 東京商工会議所 副会頭・中小企業委員長(株式会社フォーバル 会長)
- 委員 下 村 節 宏 東京商工会議所 特別顧問・工業部会長(三菱電機株式会社 相談役)
- 委員 伊 丹 敬 之 国際大学 学長
- 委員 望 月 晴 文 東京中小企業投資育成株式会社 社長
- 委員 上 坂 徹 フジサンケイビジネスアイ 社長

選考委員会 選考の統括ならびに最終選考(プレゼンテーション審査)を担当

- 委員長 伊 丹 敬 之 国際大学 学長
- 副委員長 望 月 晴 文 東京中小企業投資育成株式会社 社長
- 委員 鶴 飼 信 一 早稲田大学商学学術院 教授
- 委員 渡 辺 元 東京商工会議所 中小企業国際展開推進委員長(渡辺パイプ株式会社 社長)
- 委員 今 野 由 梨 ダイヤル・サービス株式会社 社長
- 委員 長谷川 裕 夫 東京都立産業技術研究センター 理事・開発本部長
- 委員 保 坂 政 彦 東京都中小企業振興公社 専務理事
- 委員 間 部 彰 成 東京商工会議所 理事・事務局長

選考ワーキンググループ 第二次選考(書類審査)・第三次選考(実地調査)を担当

- 座 長 鶴 飼 信 一 早稲田大学商学学術院 教授
- 委員 井 上 考 二 日本政策金融公庫 総合研究所 主席研究員
- 委員 大 村 智 之 東京中小企業投資育成株式会社 ビジネスサポート部長
- 委員 清 水 郁 男 東京都中小企業振興公社 総合支援部 総合支援課長
- 委員 四 柳 茂 樹 株式会社OCL 代表取締役
- 委員 若 槻 直 東京都中小企業診断士協会 理事 副会長
- 委員 藁 品 和 寿 信金中央金庫 地域・中小企業研究所 主任研究員
- 委員 斎 木 純 一 フジサンケイ ビジネスアイ 相談役
- 委員 山 下 健 東京商工会議所 中小企業部長

第一次選考委員 第一次選考(書類審査)を担当

- 委員 遠 藤 啓 治 中小企業診断士
- 委員 大 橋 信 太 郎 中小企業診断士
- 委員 小 野 晴 世 中小企業診断士
- 委員 坂 本 篤 彦 中小企業診断士
- 委員 佐 川 博 樹 中小企業診断士
- 委員 松 浦 徹 也 中小企業診断士
- 委員 松 原 和 枝 中小企業診断士
- 委員 渡 辺 孝 中小企業診断士

V 賞金

- 大賞 賞金:200万円
- 優秀賞 賞金:50万円
- 特別賞 賞金:30万円

※選考の結果、大賞に該当する企業がない場合や複数企業が賞となる場合もあり得る。大賞企業が複数場合は、大賞賞金額の範囲内で等分するものとする。※特別賞は、挑戦度や商品力、経営手法、経営者の理念・ビジョン、業績・財務状況などの総合的な面で大賞・優秀賞に及ばないものの、極めてユニークな取り組みやキラリと光る個性を持った企業に贈賞する。

VI 募集期間・応募総数

募集期間 | 2017年1月12日～3月10日 | 応募総数 | 155社

業種別内訳 | 合計 155社

建設業	11社	(7.1%)	金融・保険業	1社	(0.6%)
製造業	54社	(34.8%)	不動産業	6社	(3.9%)
情報通信業	10社	(6.5%)	サービス業	53社	(34.2%)
運輸業	3社	(1.9%)	その他	2社	(1.3%)
卸売業	10社	(6.5%)			
小売業	5社	(3.2%)	合計	155社	

VII 選考過程

第一次選考会 — 4月20日(木)・21日(金)
(書類審査)

第二次選考会 — 6月13日(火)
(書類審査)

実地調査 — 6月27日(火)～7月26日(水)まで

第三次選考会 — 8月9日(水)
(実地調査審査)

最終選考会 — 9月14日(木)
(プレゼンテーション審査)

VIII 推薦機関一覧

株式会社商工組合中央金庫	昭和信用金庫	公益財団法人東京都中小企業振興公社
東京中小企業投資育成株式会社	西武信用金庫	東京都よろず支援拠点
株式会社日本政策金融公庫	世田谷信用金庫	市川商工会議所
株式会社東京都民銀行	東京東信用金庫	町田商工会議所
株式会社三井住友銀行	公益財団法人大田区産業振興協会	株式会社青月社
朝日信用金庫	一般社団法人海外インフラ技術協力会	株式会社伊藤園
興産信用金庫	キャリア・コンサルタント協同組合	IS経営コンサルティング株式会社
さわやか信用金庫	一般社団法人日本金型工業会	株式会社あたぼう
城南信用金庫	日本石鹼洗剤工業組合	那住行政書士事務所
城北信用金庫	公益財団法人日本発明振興協会	コンパッサン税理士法人
		フジサンケイビジネスアイ <順不同>